

ちく たん

竹炭物語

竹炭が地球を救う



—竹炭物語—

ちくたん

人間が便利社会を
追い求め続けることによって
たくさんの自然が壊され
水、空気、土が化学物質で汚染され
多くの生き物が絶滅し
地球規模での自然破壊が進んでいる

今、私たちを使えと言わんばかりに
無尽蔵に増え続け
大地を飲み込むように広がる竹たち

竹を竹炭にして、大地に還せば
水も空気も土も綺麗になり
半永久的に大地を再生し
温暖化も止めてくれる

周りを見てみて！
いすみは竹だらけ
地球再生の資源の宝庫
子孫たちに良き環境を渡さなくては

竹炭物語は
思い描いた未来に向かって
もう始まっている

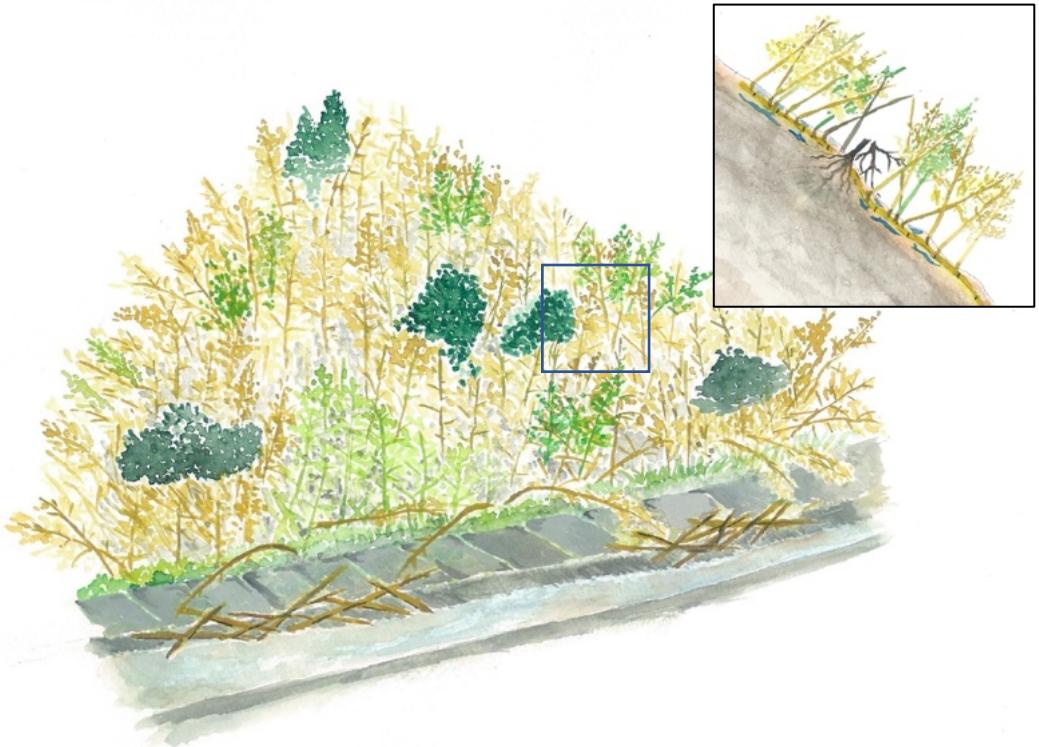


水脈は大地の要

人間は地形を変えたり、コンクリートで覆ったり、化学物質の力も借りて多くの大地を傷めてしまっている。

人間の手が加えられ衰退した大地は、水脈と土中の空気の道が閉ざされ、大地の呼吸が止まり、土は水を吸えなくなる。

雨水は大地の表面を流れ、河川の氾濫、土砂くずれを引き起こてしまっている。



竹の増殖は大地の衰退の証

大地が水を吸えなくなると、浅い層に水が溜まり深く根を張る木々は枯れしていく。そこに生きていける植物は浅く根を張る竹。タケノコは、1秒間に約9万個もの新しい細胞を作りながら、約3ヶ月で最大身長（15～25メートル）の竹に成長し、驚異的な繁殖力であっという間に山や里を覆っていく。



木々が枯れしていく暗闇の竹やぶ

放置されて拡大し続ける竹林は、太陽の光が地面に届かず、木々が枯れて、暗闇の竹やぶとなる。



竹から人間への大切なメッセージ

海岸も、川から流れてきた竹で埋め尽くされている。

大地衰退の現実を、竹は人間に伝えている！

SOS!!



竹やぶを木々が育つ竹林へ

竹を間引くと、優しい陽の光が大地に降りそそぎ気持ちの良い風が流れ、眠っていた木々の芽が成長を始める。



竹が大地再生の資源に変身

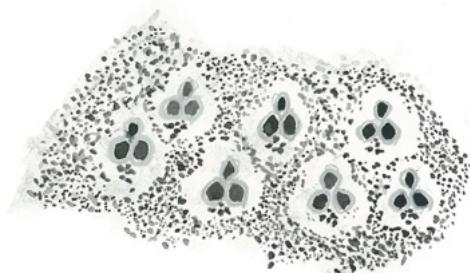
切りだした竹を焼いて、全てが炭になったら十分な水で消火し、**竹炭（細かくて柔らかい炭）**という大地を再生する資源に変える。

竹の種類も切る時期も問わず、切りだした竹全てを炭にすることが出来る。

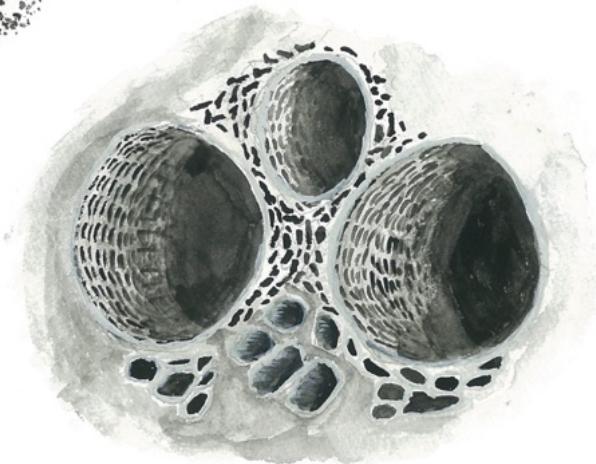


窯で焼く硬い竹炭とは異なり
細かくて柔らかい竹炭。

竹炭の構造



約50倍

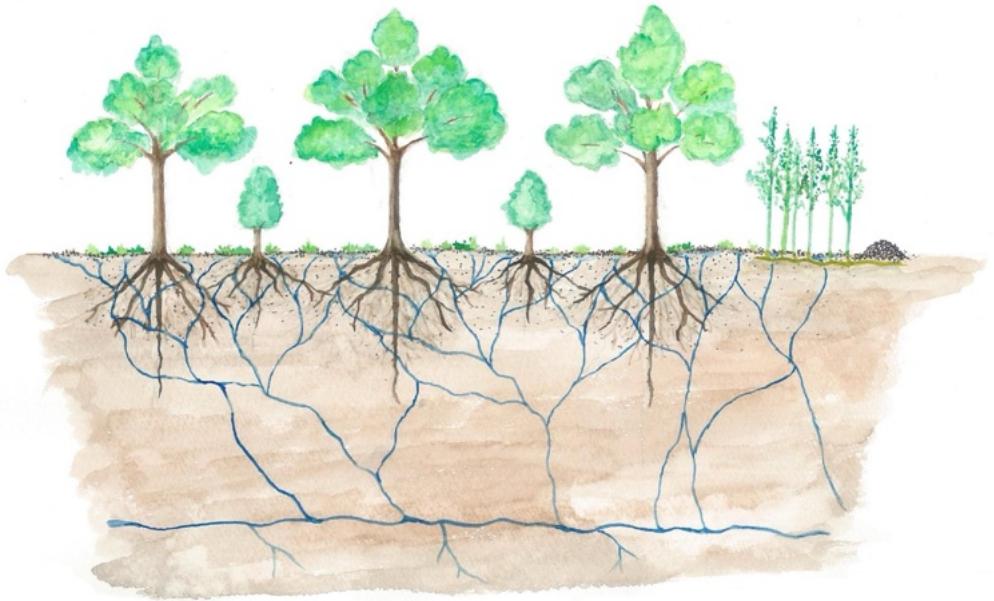


約700倍

竹炭は微生物の棲みか

竹炭は、蜂の巣状の大小様々な無数の穴があり、多くの微生物の棲みかとなる。

微生物の働きによって菌糸が無限に増殖し土中の有機物の分解を促し土をフワフワにする。



竹炭は大地の救世主

竹炭を大地に還すと、大地は再生を始め、土中の空気の道が生まれ水脈がよみがえり、深い層まで水が届く。

水を吸えるようになった木々は元気を取り戻し大地に深く根を張り、土砂くずれを防いでくれる。浅く根を張る竹の勢いは徐々に和らぎ森に再生されていく。

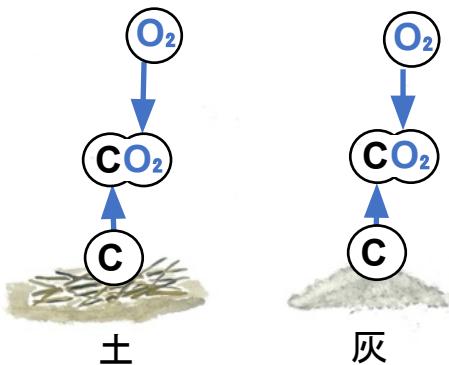
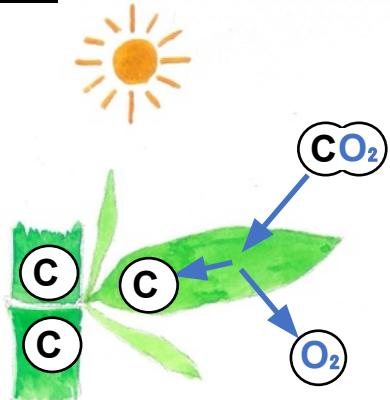
土中深く浸透した水は、多くのミネラルを含みながら大地や農地を潤し、川から海へ流れて豊かな循環を育む。

そして、竹炭は半永久的に分解されずに大地を再生し続ける。

竹炭のもう一つの大きな役割

地球温暖化防止

植物の光合成とは...
空気中の二酸化炭素(CO_2)
を吸収し、成長に必要な
炭素(C)を体内に蓄え
酸素(O_2)を放出する。



竹は朽ちて土に戻ったり
焼いて灰にすると
内部に蓄えていた炭素(C)
が酸素(O_2)と結びつき
二酸化炭素(CO_2)として空
気中に放出されてしまう。

しかし、竹を竹炭にする
と蓄えていた炭素(C)が
半永久的に固定され
その分の酸素(O_2)が空気
中に残る。竹炭を作れば
作るほど、二酸化炭素
(CO_2)の放出を防ぎ
地球温暖化の防止につな
がる。



地球を救おう

竹を竹炭にして土に還すことは、健全な生態系の再生と気候変動の緩和を同時に叶える地球再生の決定打です。この取り組みが全国に拡がることで、傷ついた地球の自然を回復させることができます。

私たちの活動は、全国の自然を愛する方々からの温かいご支援とご寄付によって支えられています。寄付金をくださる人も、作業に携わってくださる人も皆、地球を救う同志です。

寄付金のお振込み先

千葉銀行 支店名 大原支店

店番 244

□座番号 普通 3445151

□座名義 イスミチクタンケンキュウカイ



いすみ竹炭研究会

竹炭を作つて 大地を再生しています

090-9012-8270 (代表 西澤)
isumi.tikutan@gmail.com

SNSでも配信中／



“皆様、竹炭を大地に還して下さい”

—地球より—